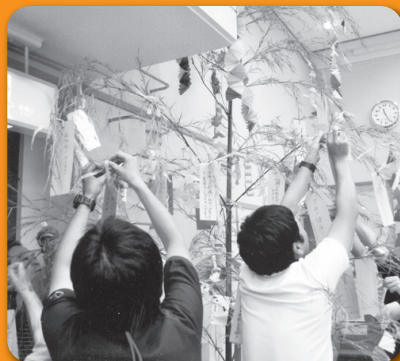


元気がわら版

庄原市社協だより8月号【Vol.136】

地域がつながる、笑顔でつながる!

～比和まるごと家族 たなばたまつり～



「超少子高齢化や人口減少ばかり嘆いていてもどうしようもない。それなら人口が少ない事を利用して、町全体が家族の様な、顔の見える関係づくりをしていこう!」という思いで毎年開催しています。

7月6日に開催した今年は、総勢180名で楽しい一日を過ごしました。住民主体の実行委員を中心に自治振興区や行政はもちろん、保育所や小学校、中学校の協力、多数のボランティアさんと参加者みなで作る「住みよい町づくりの第一歩」。キーワードは比和=人輪です。



P1...比和まるごと家族 たなばたまつり

P2...ひきこもり支援研修会

P3...庄原豪雨災害をひりかえって、災害時の対応を考える・くらしの法律ゼミナール

P4...元気報告・実習生紹介

P5...小地域サロン紹介

P6...よろず相談・福祉活動応援事業・庄原市生活支援体制整備事業あでかけ応援寄付

P7...寄付金紹介

P8...地域のものがたり(庄原)・広告

ひきこもっていても、いつか一步が踏みだせるように

ーひきこもり支援研修会を開催しましたー

“ひきこもり”について理解を深め、一時的にひきこもっていても、ご本人・ご家族に寄り添い、支えることができる地域づくりのため、「はじめの一步がふみ出せるように」をテーマに開催しました。

“ひきこもり”のは、自分を守るためのひとつの方法です。決して悪いことではありません。

この研修会は、東城のひきこもり家族の会「つばさ」とひきこもり家族の会総領「てんとうむしの会」、庄原市との共催で、赤い羽根共同募金の配分を受けて、実施しました。

第1回 7月14日(木) 参加者:75名

『ひきこもり状態からのかかわりについて』と題して、広島ひきこもり相談支援センターの相談員で、臨床心理士の山田晃靖氏を講師に迎えて、講演をいただきました。

★幅広い“ひきこもり”の要因や年齢層

- ①多様な精神疾患(統合失調症・社交不安・発達障がい・アルコール依存・睡眠)
- ②20～50歳代の年齢層
- ③多様な人生(外国の方・刑務所からの出所者)
- 関わり方はさまざま

★硬直化した家族関係

- 共通のテーマを見だして、家庭内緊張を緩める。何気ない会話から。
- ①本人は「自分はだめだ。役に立っていない」という負い目を感じている。
- ②家族は、本人の将来に焦りや不安を感じている。

★家族会や福祉サービスなどの利用によって

- ①孤立化しない
- ②緊急時のセーフティーネットとしての役割
- ③情報が入手できる
- ④地域で多職種間の連携を構築できる



第2回 7月19日(火) 参加者:60名

『安心のつながりがあれば ～ ひきこもりを支援者の視点から考える ～』と題して、臨床心理士の藤沢真智氏を講師に迎えて、講演をいただきました。

★人は誰でも、ひきこもりたくなる時がある。少しでも安心できる場所を求めていく。

→逃げられるところがあるということは幸いなこと

★コミュニケーションは“共感”から。コミュニケーションの工夫

- ①しゃべりすぎない…“7割聴く”姿勢
- ②フェアな立場の言い方 例)「～してくれると助かる(うれしい・ありがたい)のだけど」
- ③本人がしたいと思っているところ、既にできていることに注目
- ④幻聴や妄想を持っている人には、それを否定せず、そっと寄り添うように
例)「そうなんだ。そういう時は嫌だよね。つらいよね。」などの声かけ

参加者からは、「ご本人の状態を受け入れること、焦らずゆっくりと接することの大切さを知ることができた」「“家族だけで理解しなくてもいい”と思えたら悩んでいる本人、家族も肩の荷が下りると思う。声をかけていきたい」などの感想がありました。

6年前の庄原豪雨災害をふりかえって、 災害時の対応を考える

—視察来訪と地元での防災マップづくり・北地区—

7月10日(日)、広島市安佐北区の久地地区社協ほか安佐町の民生委員児童委員さん30名が視察に来られました。

安佐北区は2年前に広島大雨災害を経験された地区でもあります。安佐町は、高齢化や人口減少が進行しています。

当日は、北自治振興区の当時の区長だった住田鉄也さんをはじめ、区長の大迫孝さん、事務局長の高橋秀則さんから、6年前の庄原豪雨災害時の北地区での対応と自治振興区の取り組みについてご説明いただきました。



また、北地区では、ちょうど

6年目となる7月16日の午後から、自治振興センターで防災訓練とあわせて、当時のDVDを視聴してふりかえった後に、26年度に作成した防災マップの見直し・確認が行われました。

災害を経験し、そのときだけで終わることなく、地域の人と人とのふれあいと、絆を育む活動が日頃の自治振興区の活動の中にありました。

「こんなとき、相続はどうなるの?」「認知症の母、成年後見が必要な?」

—くらしの法律ゼミナールin東城 開催—

7月6日(水)、庄原市役所東城支所で「くらしの法律ゼミナールin東城」を開催しました。

歳を重ねていくと、預貯金、持ち家、田畑や山林など自分の亡き後の財産のことなどが、心配ごとのひとつとなっています。高齢者本人の権利を守る手段のひとつである遺言や相続、成年後見制度等について考え、家族や親族と話し合うきっかけになればとの思いから、この研修会を企画しました。

「司法書士による遺言・遺産分割・成年後見制度」と題した講演では、司法書士の飯田一生氏(広島北部司法事務所代表)を講師に、相続・遺言の基本的な説明、自筆の遺言や公正証書による遺言の方法、成年後見制度など、これまでの相談の中から、経験を踏まえた具体例をお話いただきました。

また、講演終了後には、個別の相談会もあり、1人ひとりに具体的な助言をしていただきました。



今後の予定

11月1日(火) 13:30～ 比和自治振興センター

11月2日(水) 13:30～ 庄原市民会館 集会室

口和地域センター 元気報告

男性もいきいきと輝いています!!

庄原市委託事業(介護予防事業)の喜楽塾と総領町のひょうたんクラブが、2年ぶりに交流会を持ちました。

今回は、ひょうたんクラブが「手作り人形劇『桃太郎』」を立ち上げられたということで、喜楽塾の開催日に合わせて披露して頂くことに。総領町外では初公演とあって、みなさん張り切って準備をしてくださいました。せっかくの機会なので、口和町内の保育園にも観劇の声かけをして遊びに来ていただきました。

当日は人形劇のほか、マジックショー・神楽などを披露してくださり、喜楽塾メンバーだけでなく園児達も大喜び。劇中の「桃太郎」の歌も一緒に元気よく歌って大いに盛り上がり、素敵な世代間交流が実現しました。

そして会食の後は、混合チーム対抗のミニ運動会や、喜楽塾で取り入れている介護予防体操をみんなで楽しみました。

2年ぶりの再会に、最初はお互い会話もぎこちなかったのですが、次第に打ち解けて、喜楽塾から「ひょうたんクラブのみなさんから元気をもらいました。自分も頑張っって何かにチャレンジしてみようという気持ちになりました。」という嬉しい声も。そして最後は、ひょうたんクラブから「お互い元気で、また会いましょう。」と挨拶をいただき締めくくりました。

喜楽塾もひょうたんクラブも、それぞれが活躍の場を見つけていきいきと活動しておられます。その姿は現役の頃に負けなくらい素敵だと思います。



実習生が地域にお伺いします!

庄原市社協では、今年度も、社会福祉士養成課程における「相談援助実習」の実習生を受け入れます。実習生が、将来ソーシャルワーカーとして活躍できる人材に少しでも近づけるよう応援したいと思いますので、地域・関係機関の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

ゆずり まきこ
紅 真紀子さん(美作大学 生活科学部 社会福祉学科 4年生)

こんにちは。私は、大学で社会福祉士になるための勉強をしています。また「美作福祉部隊リカイヒロメタインジャー」として活動をしています。

この度、8月17日から約1か月間、地元で実習をさせていただくことになりました。実習中、地域の皆さんとの関わりを大切に、庄原市の地域福祉活動の理解を深めたいと思っています。



人見知りの面もありますが、積極的に取り組みたいと思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。



美作福祉部隊

リカイヒロメタインジャー

これは、「障害があってもええがん」をモットーに、地域において、劇や疑似体験を通して障がい理解を広める活動です。

まち わたしの地域の小地域サロン

～ いろんな地域のサロン活動をご紹介します ～

平和サロンひまわり(庄原・平和町)

● 活動を始めたきっかけ

私たちのサロンは、1人の女性のつぶやき「昔の様に、みんなと会って話しがしたい」という声をきっかけにはじまり、今年で5年目を迎えます。

サロン名は、“いつも明るく楽しく、夏の空に向かって咲くひまわりのように力強く生きていこう”との願いを込めて「ひまわり」と名付け、月1回活動しています。



● サロンのイチオシ

自分の体調管理をしっかりしながら、ひとり暮らしになっても、認知症になっても、お互いに見守り、支え合いながら住み慣れたこの地で安心して暮らせる地域づくりを目指しています。茶話会に加え、シルバーリハビリ体操や出前講座などを利用し、健康づくりや、生活に密着した様々な事を学んでいます。多くの方に参加していただけるよう、お花見会など男性が参加しやすい内容も取り入れています。

笑顔があふれ、ひとりひとりが輝ける「ひまわりサロン」を地域の憩いの場として今後も大切にしていきたいと思っています。

深石サロン(高野町和南原)

● 活動を始めたきっかけ

元々、頼母子講での集まりからサロンに移行して立ち上がった深石サロン。メンバーは幼なじみや昔ながらの顔なじみで、毎月第2火曜日に深石集会所へ集まっています。料理やお菓子を持ち寄り、お昼ご飯を食べたり、運動やお話をしたりとほぼ1日を通して、楽しい時間を過ごしています。



● サロンのイチオシ

今年からシルバーリハビリ体操を毎回行っており、「みんなで習うと楽しいし、やる気も元気も出る」と健康維持に意欲的に取り組んでいるサロンです。家でも実践して、その効果をみんなで確かめ合っています。



年に数回は、道の駅での食事会や、町内のお花見に出かけています。

最近、サロンに集まることが難しくなっている方もおられますが、無理なく参加できるように「何時でも参加して大丈夫。とにかく、みんなの顔が見れたらいいよ」と話しています。

これからも“元気・おしゃべり・おいしいご飯”そしていきいきと“体操”を続けていけたらと思っています。

よろず相談 のご案内



相談は、無料で24時間365日職員が対応しています。なお、夜間から早朝（緊急時等）は、下記の専用電話にご連絡いただくと担当者に取り次ぎます。

緊急時等専用電話 ☎080-5239-4085

- 法律相談（弁護士相談）
※予約制で一人の相談時間が30分以内です。
 - 日時：9月2日（金）12:45～15:45
 - 場所：庄原市ふれあいセンター（庄原市西本町四丁目5-26）
 - 相談内容：賃貸に関するトラブル、交通事故、相続、離婚、借金問題、消費者トラブルなど
- 司法書士相談
※予約制で一人の相談時間が45分以内です。
 - 日時：9月21日（水）13:00～16:00
 - 場所：庄原市ふれあいセンター（庄原市西本町四丁目5-26）
 - 相談内容：不動産の名義変更、相続登記・遺言、借金の整理、成年後見、会社の登記、簡易裁判所訴訟代理など

その他の相談にも応じています。
お近くの地域センターにお問い合わせください。

お知らせ

市民活動・お互いさまの活動を応援します！

「地域や団体の福祉活動応援事業」のご案内

地域の団体や民間福祉団体、グループが実施する、地域の福祉課題解決に向けたボランティア活動、交流事業、啓発事業等を応援するため、赤い羽根共同募金を財源に、予算の範囲内で事業の助成をします。

- 申請受付期間
平成28年4月1日（金）～9月30日（金）まで
- 助成額
1事業（1団体）につき総事業費の2/3まで（ただし、上限3万円）
- 申請方法
事前にお問い合わせいただき、所定の申請様式でお申し込みください。

地域福祉課：（0824）72-7120

いつまでも安心して暮らせる地域をめざして「庄原市生活支援体制整備事業」が始まります！

目的 この事業は、地域の支えあい活動を推進するため、自治振興区・行政等、多様な団体が連携し、高齢者等の生活支援や、生きがい活動等を推進することで、安心して暮らせる地域をめざします。

社会福祉協議会は、これまで行ってきた地域福祉の実績を活かし、新たに誕生する生活支援コーディネーターが地域とともに、住民同士の支えあいや見守り、サロン等の集いの場づくりを進めることで、地域の支えあい活動を推進します。

7月1日から31日までの間に、おでかけ応援隊活動に協力いただいた皆さんです

庄原地域

（有）いとう 様
Hana hair 様（2口）
クリーンコンサルタント（有） 様
（株）細川青果 様
（株）ユーナス 様
庄原スマイル薬局 様
庄原センター薬局 様
スマイル薬局板橋店 様

東城地域

アカシア薬局東城店 様
寺岡車輛（株） 様
マックスコーポレーション 様
東城キリスト教会 様
エディオン 東城店 様（2口）
介護老人保健施設こぶしの里 様
中国新聞東城販売所 様

口和地域

ファミリーショップあかぎ 様
モーモー物産館 様
（株）岩滝モータース 様
谷本酒店 様
口和歯科診療所 様
（有）セルダムコーポレーション 様
庄原市口和診療所 様
あすか薬局口和店 様
（株）新葬祭くちわ 様

高野地域

ブーケの会 様

総領地域

石原 行雄 様（2口）
前田 一二 様
（株）里山総領 様（2口）

進物・酒類・衣料・インテリア かじおか 様
（有）くちわ葬祭 様
立花屋 様
モーモーあいすらんど 様
為田 轟 様
原 四朗 様
原 時子 様
国原医院 様
あんず薬局 様
くちわ自動車 様

協力いただいた皆様、ありがとうございます。

協力いただいた方の店舗・自宅に、このステッカーを貼っていただいております





縁は異なるもの、味なもの

●レポーター名
西本町にお住まいの
牧原 新子 さん

私は東京都の出身です。平成4年から縁あって山口県内の病院で医療事務の仕事をしていましたが、人と話しをするのが好きで、「もっと人と関わる仕事に就きたい」と思っ

ていました。そんな私の様子を見た当時の院長先生から薦められ、平成15年に看護師資格を取得し、しばらく山口県内で看護師として働いていました。そして平成16年に結婚、それを機に夫の住む庄原市へ引っ越してきました。

はじめは、庄原の方言が全く解らず会話も通じないため困る事も多かったのですが、看護師の仕事を通して、また知人から誘われた「庄原こどもミュージカル」に参加し、地元の「フラダンス教室」に通ううちに友人も増え、今では方言も大分解るようになり、仕事も私生活も充実し、引っ越して来て良かったと思っています。

慣れない生活の中、知り合いもいない私に「どうしちゃったん?」「大丈夫かいね?」「まあ、元気だしんさいよ。」等、いつも声をかけていただき、私の本当の故郷、東京の都会生活に無い心遣いを嬉しく思っています。

仕事に、そして地域活動に生かせたらと、「災害支援ナース」「介護技術指導主任」「救急蘇生指導者」「痰吸引医療的ケア教員」「認知症サポーター養成講座」などの資格を取得しました。高齢者にも障がい者にも子どもにも優しく住みやすい庄原の魅力を感じながら、少しでも住民の皆さんの力になれたらと思っています。



セキスイ製 ポータブルトイレ
無償交換
のお知らせ

対象製品確認方法
ひじ掛けと背もたれにすき間があります

背もたれ
ひじ掛け

すき間が
約10cm
あり

横から見た図 立体図

お問い合わせ **積水化学工業株式会社 ポータブルトイレ回収窓口**
0120-011-578 (無料) 受付時間 9:00~19:00
※土、日、祝日、年末年始を除く

FAX **0120-231-756 (無料)** E-mail **products_j@sekisui.com**

所在地 〒105-8450 東京都港区虎ノ門2-3-17

※お客様からご提供いただきました住所、氏名、電話番号などの個人情報と本件の対応以外には使用いたしません

SEKISUI
【製品・販売先】
積水ライフテック(株)

広告

相続、成年後見、空き家問題等でお困りの方はご相談ください。

業務のご案内

- 不動産の名義変更
- 成年後見
- 相続登記・遺言
- 会社の登記
- 借金の整理
- 簡易裁判所訴訟代理等

●詳しくはホームページに書いています。

庄原 司法書士

司法書士 飯田 一生
《広島司法書士会所属》

広島北部司法事務所 (訴訟代理権認定第524014号)(司法書士登録番号828号)
〒727-0013 広島県庄原市西本町四丁目20番17号 バルナッシュB2階 TEL0824-72-2315 (要予約)

広告

【草刈り 蜂駆除】致します

草刈り・りんりんができる業務

- ①草刈作業
- ②蜂の駆除
- ③除草剤散布作業
- ④庭木の手入れ
- ⑤枝打ち作業
- ⑥樹木伐採作業 (関連した軽作業)

見積り無料 草刈り代行サービス 草刈り・りんりん
庄原市川北町3270-7 加藤 雅

お問合せ先: TEL0824-72-5460 FAX0824-72-5462

